



ICTをツールとして、学習に取り入れることの大切さ



(※紙面内容は、前号の続き)

また「笹小だより⑤」でも書きましたが、現在学校では、国の【GIGAスクール構想】により、児童一人1台のタブレットが貸与され、日々の学習に活用されています。この夏休み中にもそれぞれの学年に合わせた課題が出ていたところです。

導入以来この2年間で、子どもたちの学習形態は大きく変容してきました。学校として大切に考えていることは、タブレットなどのICTの効果的な使い方です。情報活用時のきまりやモラルをしっかりと身につけつつ、学習ツールの一つとしての活用を進める必要があります。

具体的な使い方としては、例えば①知らないことやわからないことを自分で調べる。②自分の考えをICTを使って、わかりやすくまとめて他の人に伝える。③自分の意見と友達の意見を交換し、そこから新たな考えを生み出す。などが考えられます。

以下の学習状況調査の結果から、今のところ児童は、とてもうまく活用し始めていることがわかります。これからの情報社会に出て行く子どもたちに、モラルやきまりを伝えながら、情報教育をすすめることを、今後も引き続き考えてまいります。

また、保護者の皆さまにも、ICTの活用についてご覧いただける場を工夫し考えます。

学習状況調査の中の、タブレットなどのICT機器の使用に関する設問

質問項目	ほぼ毎日	週3回以上	週1回以上	月1回以上	月1回未満
5年生までに受けた授業でICT機器をどの程度使用しましたか。	65.3 26.7	27.9 31.5	3.4 25.0	2.0 11.5	1.4 5.1
学校で授業中に自分で調べる場面で、ICT機器をどの程度使っていますか。	29.9 14.3	39.5 29.6	23.8 32.2	3.4 16.4	3.4 7.3
学校で学級の友達と意見交換する場面でICT機器をどの程度使っていますか。	24.5 6.4	31.3 16.1	27.9 26.9	9.5 24.2	6.8 26.2
学校で自分の考えをまとめ発表する場面で、ICT機器をどの程度使っていますか。	16.3 6.9	32.7 14.8	25.9 23.5	15.6 28.7	9.5 25.8

【学習状況調査結果から思うこと】



児童の学習状況の内容は、①学校として頑張ること、②家庭にご協力いただきたいこと、③両者が協力して進めることに分類できます。本校職員が、子どもたちの関係づくりとともに取り組むべきことには、全職員が重点的に努力してまいります。

ご家庭にご協力いただきたいこととしては、「朝食を毎日食べること」・「毎日同じくらいの時刻に寝起きすること」などがあります。朝食について肯定的だった回答は、コロナにより家庭での時間が増えた影響からか、②2年度は①31年度の87.8pから97.1pへと大きく増加しました。それ以来、③3年度94.3p、④本年度94.5pとずいぶん改善され、各ご家庭には感謝しています。一方、同じくらいの時刻に寝起きすることについては、肯定的な回答が「寝る」は①79.4p②83.8p③79.5p④79.6p、「起きる」は①93.1p②91.9p③89.4p④89.1pのような状況です。時間の不規則な就寝・起床の原因もいろいろ考えられますが、ゲームやネットに影響されていないことを願っています。

その他、ご家庭とともに子どもたちの努力を認め・褒め・励ますことの繰り返しの繰り返しにより、自尊感情を伸ばし、将来に夢と希望を持たせたいものです。

「教育のユニバーサルデザイン化」を進める



本校では共に学び、共に生きていく子どもの育成に向け、「教育のユニバーサルデザイン化」を学校全体で進めています。誰にとっても集中しやすい環境づくり、分かりやすい授業、心地よい学級づくり等を目ざして、子どもたちの多様なニーズに対応できるよう学校として日々取り組んでいます。



今年も夏季休業中に、本校学校運営協議会委員でもある後野文雄氏を講師として、「教育のユニバーサルデザインを進める」と題した講演会を、教職員・学校運営協議会委員・PTA執行部員等を対象に開催しました。

学校・家庭・地域が同じ方向を目ざして子どもたちを育むことは、児童一人ひとりの成長に大きな効果が期待できます。

いつも様々な場面でご協力いただいている保護者・地域の皆様にも、本校での取り組みの一部をご紹介いたしたく、この度「ユニバーサルデザイン通信」を作成しました。ご覧いただければ幸いです。

https://www.itami.ed.jp/school/elementary/ele_sasahara/ele_syoukai/30519.html

(支援教育コーディネーター 大石愛弓・関口昌代)

笹ポーター「図書グループ」の募集！



本校では、保護者や地域の皆さまにいろいろな教育活動を支援いただくおかげで、子どもたちにとって良い環境が実現しています。ご支援くださっている皆様、誠にありがとうございます。たくさんの方々の方々の力とあたたかさを受けることができ、子どもたちはとても幸せだと思います。

コロナ禍前には、保護者の皆さまによる「図書ボランティア」があり、本好きの子どもたちの育成と支援のため、「読み聞かせ」や「学校図書館等の本の修理・整理」をお手伝いいただいていた。毎年、PTA総会の場でボランティア活動をされている代表の方から保護者の皆さまにご案内と呼びかけがあり、長らく続いていました。しかし、新型コロナウイルス感染症が広がり、保護者の皆さまに募集のお知らせができず、現在は図書ボランティアの活動がずっとストップしている状況です。

3年にもわたるコロナ禍で止まっていた活動を少しずつ元に戻しながら、今できることから徐々に始めようと、この度図書ボランティアの活動を再度始めようと計画しています。読み聞かせなども、以前のように密になって行うのではなく、広く間隔をとりながらも絵本のページをプロジェクターで大きく写すなど工夫して、本を読む楽しみを再び子どもたちに伝えていくことを計画しています。

図書ボランティアも、多方面から支援をいただいている支援ボランティア【笹ポーター】の一部で「図書グループ」として活動を再開する予定です。

詳細は別途配布しています手紙『ボランティア「図書グループ」募集のお知らせ』をご覧ください。ご協力いただけます場合は、各担任を通してお申し込みくださいますようお願いいたします。

ご提出くださいましたら、図書ボランティア代表の方から、説明会の案内があります。

主な活動予定時間

「本の読み聞かせ」…毎週水曜日 業間休み時間 10:25～10:50
「本の整理・修理」…毎週火曜日 昼休み時間 12:25～13:20

